

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	2	地域との関わりをもっと強固なものになりたい。認知症サポーター養成講座を行う予定ではいるが、他の貢献や中へ入って頂ける様なオープンな施設を目指したい。	町内での「愛の家」のポジションを確固足り得るものにして存在意義を高めていきたい。	一階のデイサービス、隣の有料老人ホームの管理者と共に、秋には合同でのお祭りを開催し地域へ存在をアピールしていく。	6ヶ月
2	13	職員育成に特化した研修や講義をもっと行っていきたい。時間や金銭の制約にとらわれず、充実を図っていきたい。	職員一人ひとりがそれぞれの目標やレベルアップが図れるような環境づくりを行いたい。	年間を通じて外部研修へ参加を予定している。	12ヶ月
3	29	ご利用者全員が地域の一員として関わっていけるような施設運営を図りたい。	ご利用者様の顔と名前がご近所の方に判って頂ける様になりたい。	2の項目と同様に、近隣へ行事を通じて地域へのアピールを行う。	6ヶ月
4	35	夜間帯に、スタッフが一人になってしまう状況での不安の解消や危機回避への取り組みを図りたい。	危機回避へのバックアップ体制を図りたい。	夜間想定避難訓練や地域の防災団との関りを増やし安全の確保に努める。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。